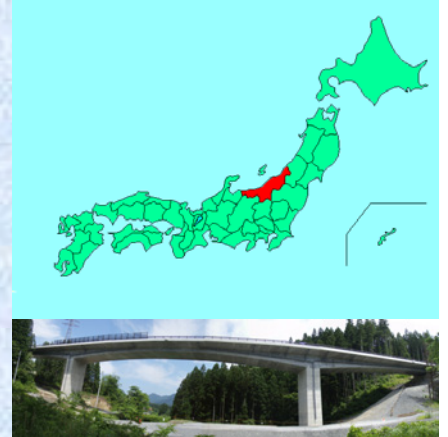


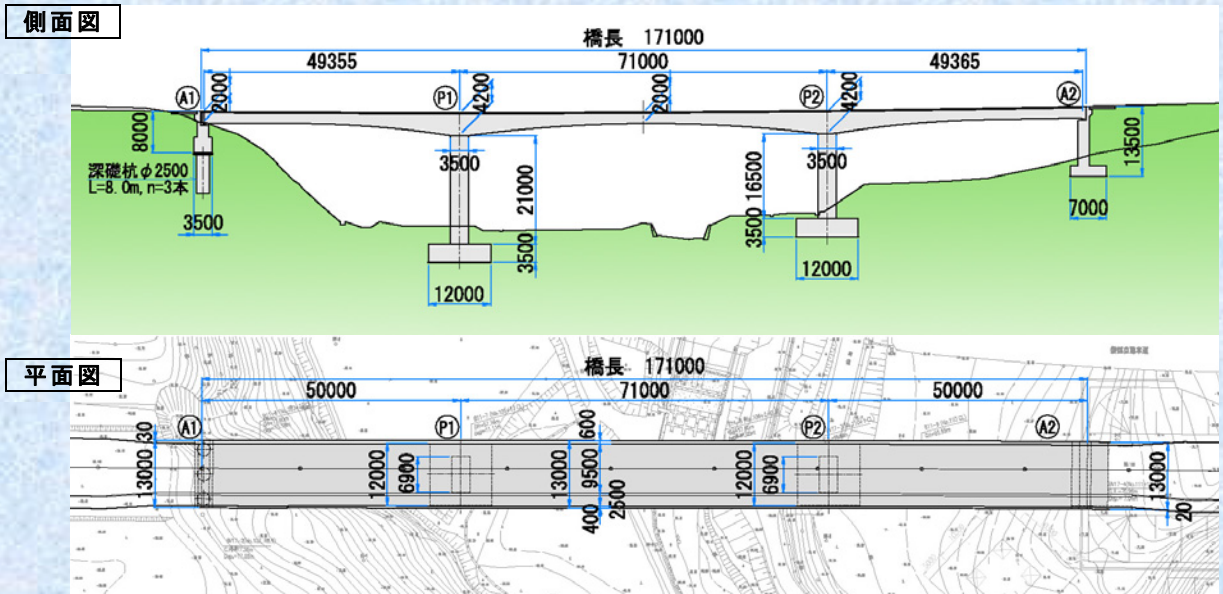


あがにしこうかきょう
阿賀西高架橋



西高架橋は、太平洋側と日本海側を結ぶ主要幹線道路である一般国道49号（福島県いわき市～新潟市）における揚川改良事業の橋梁です。揚川改良事業は旧東蒲原郡津川町清川から同郡三川村白川地区における急峻な岩盤斜面において幾度も発生している土砂災害、岩石崩落及び雪崩等の災害を回避するための改良計画として進めています。本工事は、この計画の中で西之沢川を跨ぐ橋梁として構築されるものです。

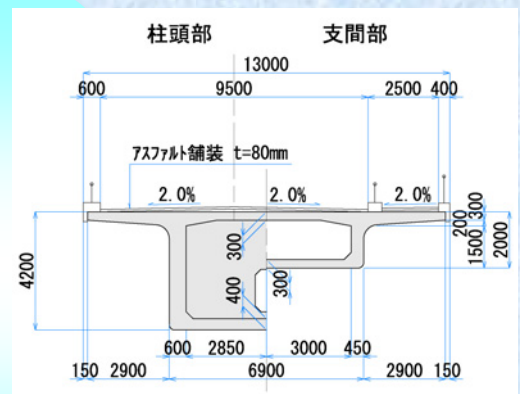
◆一般図



◆橋梁諸元

工事名：国道49号揚川改良 西高架橋上部工事
 発注者：国土交通省 北陸地方整備局
 設計者：星野橋梁設計(株)
 位置：新潟県東蒲原郡阿賀町西地先
 道路規格：第3種第2級
 形式：PC3径間連続ラーメン箱桁橋
 荷重：B活荷重 雪荷重：1.0 kN/m²
 橋長：171.0m(49.355m+71.0m+49.365m)
 総幅員：13.000m（有効幅員 車道 9.5m、歩道 2.0m）
 架設工法：張出し架設工法

断面図

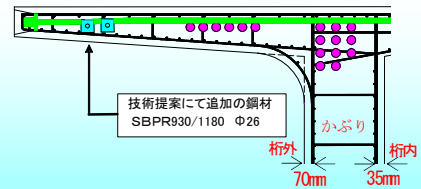
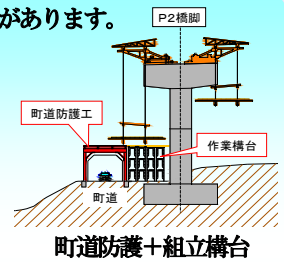


PC鋼材：主鋼材 : SWPR7B 12S15.2 (フレシネー工法：内ケーブル)
 床版横締め鋼材：SWPR19L 1S28.6 (フレシネー工法：プレグラウト鋼材)
 床版先端補強鋼材：SBPR930/1180 φ26

◆ 構造・施工概要

本橋は、一般的なPC 3径間連続ラーメン箱桁橋です。しかし、施工条件においては以下の特徴があります。

- 1) P2橋脚横に町道があるため、移動作業車組立時の組立架台、張出し架設中の防護対策として町道防護構台を設置しています。
- 2) 張出し床版先端部分にPC鋼棒（φ26mm）を技術提案にて追加配置し、この付近における打ち継ぎ目のひび割れ、漏水防止を図っています。
- 3) 本橋は塩害対策区分Ⅰ（路面凍結防止剤散布）であり、主桁外面は純かぶり70mmです。桁内部においては35mmと通常の純かぶりになっています。
- 4) 新潟県下でも雪の多い場所であるため、張出し架設時、側径間支保工施工時における防風、防雪対策として外周全面をシート養生し、内部にはさらに給熱養生のためのシート養生を行い、二重の寒中コンクリート対策を予定しています（写真は冬期に向けて現在養生整備中で、片側作業車はまだ準備中）。



追加鋼材配置及び純かぶり



施工全景



道路防護対策



寒中対策状況



コンクリート打設

◆ 工程表

項目	平成20年												平成21年					
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
準備工	■																	
脚頭部工				■														
橋体工				■														
橋面工・付属物													■					
片付け工																■		